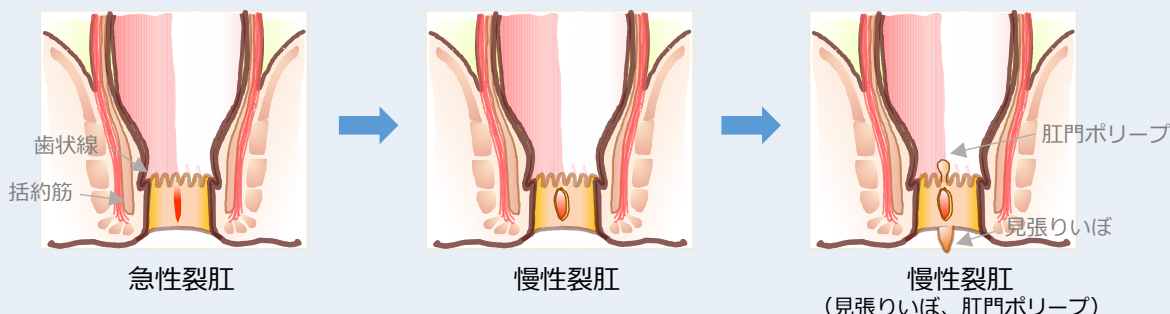


裂肛（切れ痔）

裂肛（切れ痔）は、肛門の出口付近の皮膚（歯状線の下にある肛門上皮）が切れた状態です。便秘により硬い便が通過したり、下痢便の強い勢いなどで、肛門上皮が切れたり、肛門部の血液循環が悪くなるのが原因です。



裂肛が悪循環となるサイクル

主な症状

- ・排便時の強い痛み*
- ・出血（量は少ない；トイレットペーパーに付く程度）

* 歯状線より下にある肛門上皮は、肛門内部の粘膜と異なり、痛みを感じる神経（知覚神経）があるため、裂肛は、強い痛みを伴います。

治療法

治療の基本は、保存的治療

- ①外用薬による治療
- ②排便習慣の改善

炎症や痛みを抑えるため、内服薬を併用することもあります

◎原則的には手術が治療の第一選択になることはありません。

・手術適応

- ①慢性裂肛や肛門ポリープを伴う場合
- ②肛門狭窄と認める場合

・手術療法

裂肛切除、側方皮下内括約筋切開（LSIS）
肛門形成術（SSG）

裂肛は…

- ・95%は手術をせずに治すことが可能です
- ・繰り返さないことが大切です
- ・排便習慣の改善が裂肛の予防にもつながります

裂肛の手術は慢性裂肛による肛門の狭さやかたさを取り除き、元の柔軟な肛門の状態に戻すための手術です。

手術を行っても、便が硬く、肛門上皮が切れると、再び慢性裂肛になることがあります。

院長からひとこと

裂肛（切れ痔）の治療には、良い排便習慣が最も大切です。裂肛を悪化させないためにも、おしりに痛みを感じたら、早めにご相談ください。

